

J C F 日本プロフェッショナルダンス競技連盟東部総局
アマチュアN級～SA級昇降級規定

J C F アマチュア競技本部長
毛塚 鉄雄

本規定はJ C F 東部総局アマチュアN級からSA級昇級の公式戦に適用する。 平成 17 年 4 月 24 日

第 1 章 昇級規定

D 級～SA級の選手は、年間 2 回以上試合に出場することが昇級適用の必要条件とする。

第 1 条 D 級からSA級の昇級は下記の昇級規定表およびその付則による(スタンダード・ラテン共通)。

昇級規定表

級	摘要		昇級時期他
SA級 A級	(1)A級選手権の優勝3回以上の成績を収め、トップの成績と認められたとき。 (2)上記の成績と同等以上の成績を収めダンス界の発展に寄与したと認められる場合。		随 時 (出場組数)5組 以下不成立
A級 B級	出場組数24組以上の場合	B級競技会で、2回以上6位以上に入賞したとき。	年度末 (出場組数)5組 以下不成立
	出場組数24組以上の場合	B級競技会で、1回6位以上入賞し、上級競技会(選手権)の準決勝以上に入賞したとき。	
B級	出場組数23組以下6組以上の場合	B級競技会で、出場組数の上位20%以内の成績を2回以上得たとき、又は20%以内の成績を1回得て、上級競技会の準決勝以上に入賞したとき。(小数第1位繰上げ)	年度末 (出場組数)5組 以下不成立
B級 C級	出場組数24組以上の場合	C級競技会で、6位以上に入賞するか又は2回以上準決勝以上に入賞したとき。	
	出場組数24組以上の場合	上級競技会の準決勝以上に入賞したとき。	
C級	出場組数23組以下6組以上の場合	C級競技会で、出場組数の上位20%以内の成績を2回得たとき。(準決勝扱い)(小数第1位繰上げ)	年度末 (出場組数)5組 以下不成立
C級 D級	出場組数24組以上の場合	D級競技会または上級競技会で、6位以上入賞したとき。	
	出場組数24組以上の場合	D級競技会で、2回以上準決勝に入賞したとき。 上級競技会で、準決勝に入賞したとき。	
D級	出場組数23組以下6組以上の場合	D級競技会で、出場組数の上位20%以内の成績を得たとき。(小数第1位繰上げ)	

第 2 条 ノービススタンダードの昇級規定は以下の通りとする

ノービス競技会において、以下の順位を得たとき。出場組数の上位30%までの順位(別表参照)。少数第1位繰上げ。フィガーは、ベーシックのみ。5組以下不成立。

ノービススタンダード昇級規定 別表

出場組数 (欠席者を除く実数)	成 績	昇級人員	出場組数 (欠席者を除く実数)	成 績	昇級人員
5組以下	不成立		41組～43組	1位～13位	13組
6組	1位～2位	2組	44組～46組	1位～14位	14組
7組～10組	1位～3位	3組	47組～50組	1位～15位	15組
11組～13組	1位～4位	4組	51組～53組	1位～16位	16組
14組～16組	1位～5位	5組	54組～56組	1位～17位	17組
17組～20組	1位～6位	6組	57組～60組	1位～18位	18組
21組～23組	1位～7位	7組	61組～63組	1位～19位	19組
24組～26組	1位～8位	8組	64組～66組	1位～20位	20組
27組～30組	1位～9位	9組	67組～70組	1位～21位	21組
31組～33組	1位～10位	10組	71組～73組	1位～22位	22組
34組～36組	1位～11位	11組	74組～76組	1位～23位	23組
37組～40組	準決勝を踊った選手	約12組	77組以上	最終予選を踊った選手	約24組

- * 7位～11位までの昇級者は、下位決勝を行うか準決勝の点数により決定する。
- ** 準決勝以下は、予選の点数で決定する。*** 同位者がいる場合は、すべて昇級対象とする。

第3条 ノービスラテンの昇級規定は以下の通りとする。

ノービス競技会において、以下の順位を得たとき。出場組数の上位50%の順位で少数第1位繰上げ(別表参照)。フィガーは、ベーシックのみ。1組では不成立。

ノービスラテン昇級規定 別表

出場組数 (欠席者を除く実数)	成績	昇級人員	出場組数 (欠席者を除く実数)	成績	昇級人員
2組	1位	1組	15組 ~ 16組	1位 ~ 8位	8組
3組 ~ 4組	1位 ~ 2位	2組	17組 ~ 18組	1位 ~ 9位	9組
5組 ~ 6組	1位 ~ 3位	3組	19組 ~ 20組	1位 ~ 10位	10組
7組 ~ 8組	1位 ~ 4位	4組	21組 ~ 22組	1位 ~ 11位	11組
9組 ~ 10組	1位 ~ 5位	5組	23組 ~ 24組	1位 ~ 12位	12組
11組 ~ 12組	1位 ~ 6位	6組	25組 ~ 26組	1位 ~ 13位	13組
13組 ~ 14組	1位 ~ 7位	7組	27組 ~ 28組	1位 ~ 14位	14組

* 7位 ~ 11位までの昇級者は、下位決勝を行うか準決勝の点数により決定する。

** 準決勝以下は、最終予選の点数で決定する。

*** 同位者がいる場合は、すべて昇級対象とする。

第2章 降級規定

スタンダード、ラテンともに年度内に2回以上出場しないと降級する(即日昇級した場合は、次年度より適用)。

第1条 SA級からC級(スタンダード、ラテン共通)

SA級からC級の降級規定は下記の表および注意による。

級	出場組数	摘要	降級時期他
SA級	降級しない。ただし、引退を勧告される。		年度末
A級	出場組数24組以上	1競技年度を通じて、2回以上試合に出場し、1度もA級競技会で準決勝以上に入賞する成績を得られなかったとき。	年度末 (出場組数)5組 以下不成立
B級	出場組数23組以下の場合	1競技年度を通じて、2回以上試合に出場し、1度もA級競技会で出場組数の50%以内の成績を得られなかったとき。(小数第1位繰上げ)	
B級	出場組数48組以上	1競技年度を通じて、2回以上試合に出場し、自己級及び上級競技会の最終予選(第3次予選以上)に1度も入らなかったとき。	年度末 (出場組数)5組 以下不成立
C級	出場組数47組以下 6組以上の場合	1競技年度を通じて、2回以上試合に出場し、1度もB級競技会で出場組数の40%以内の成績を得られなかったとき。(小数第1位繰上げ)	
C級 D級	1競技年度を通じて、2回以上試合に出場し、自己級及び上級競技会で1度も第1予選を通過できなかったとき。		年度末 (出場組数)5組 以下不成立

* SA級の引退について

年度内に選手権の6位以上に1度以上入賞しない場合、引退勧告される。

SA級選手として相応しない振る舞いがあった場合、審議により引退勧告される。

** 海外留学・海外出張者等の降級について

長期不在者については、事前の申請があれば年度末の昇降級会議において、降級規定を適用しないことがある。

第2条 D級スタンダード

D級スタンダードの降級規定は下記の表および注意による。

級	摘 要	降級時期他
D級 1級	1 競技年度を通じて、2回以上試合に出場し、自己級及び上級競技会で1度も第1予選を通過できなかった場合、又はD級競技会の1次予選での審査員のチェック数が年間合計20に達しない場合。	年度末 (出場組数)5組 以下不成立

第3条 D級ラテン

D級ラテンの降級規定は下記の表および注意による。

級	摘 要	降級時期他
D級 1級	1 競技年度を通じて、2回以上試合に出場しなかったとき。	年度末 (出場組数)5組 以下不成立

第3章 付 則

第1条 競技会

本規定の「競技会」はJCF東部総局の認定の公式戦を示す。

第2条 競技年度

本規定の1競技年度は、毎年1月1日から12月31日とする。

第3条 予選に関する特例

実数96組以上で予選が4回以上ある試合の最終予選は、準決勝扱いとする。
尚、リダンスについては予選の数として数えない。

第4条 出産者の特別措置

出産の為に試合出場が出来なかったことが認められた場合は、降級対象としない。
この場合、本人が文章により産休届を提出しなければならない。

第5条 登録抹消

下記の場合に登録が抹消され、選手資格を喪失する。

- (1) 本人が登録抹消を希望し、文書で提出した時。
- (2) 2年間継続して登録しないもの。

第6条 その他

- (1) ノビス級競技会はベーシックフィガーのみ使用可。但しフィガーの組み合わせについては全く自由とする。
- (2) D級以上の競技会はフィガー制限なし。
- (3) D級以上の競技会の出場資格は、選手登録済みで、D級以上の選手とする。但し、持ち級以上の競技会に出場可能。

第7条 適用開始

以上の規定は2005年4月24日より適用する。

以上